

新技術・情報名	肉用鶏後期飼料中の 10%を丸粒玄米で代替えしても生育成績等に影響を及ぼさずに給与できる				
[要約] 肉用鶏後期飼料中のトウモロコシを10%丸粒玄米に代替えしても、生育成績等に影響を及ぼさずに給与できる。					
畜産試験場・中小家畜部・中小家畜研究担当			連絡先	0954 - 45 - 2030 chikusanshiken@pref.saga.lg.jp	
部会名	畜産	専門	飼育管理	対象	肉用鶏

## [背景・ねらい]

肉用鶏飼料としての玄米の栄養価はトウモロコシとほぼ同等であり、100%の代替えが可能である。しかし、肉色・脂肪色の退色等の影響があるため、肉色等の生産性に変化を与えない量は飼料中の 20%程度であると報告されている。

そこで、第一回試験では形状を、第二回試験では給与量の検討を行った。

## [成果の内容・特徴]

1. 形状の検討では、破碎または丸粒でも出荷体重等に差は見られなかったが、丸粒区で飼料要求率に影響が見られた（表 1）。
2. 給与量の検討では、後期飼料中の 10%までは丸粒玄米で代替えしても生育成績（表 2）、脂肪酸組成（表 3）及び腹腔内脂肪及び筋肉色（表 4）に影響を与えなかった。

## [成果の活用面・留意点]

1. 本試験は、ミズホチカラ（飼料用米、CP7.8%）で実施した。

[具体的データ]

表 1 生育成績（第一回試験）

区分	育成率 (%)	出荷体重 (g)	飼養日数	飼料要求率	生産指数 (PS)
0%区	100.0%	3,044	50	2.05 a	297
破砕区	98.2%	3,051	50	2.01	298
破砕+丸粒区	98.7%	3,062	50	2.00	310
丸粒区	98.2%	3,036	50	1.99 b	310

※異符号間に有意差 (P<0.05)

※飼料中の20%を飼料用米で代替し飼育全期間給与した。

表 2 生育成績（第二回試験）

前期+後期	育成率 (%)	出荷体重 (g)	飼養日数	飼料要求率	生産指数 (PS)
市販+0%	93.1	3,807	50	1.90	373
市販+10%	97.5	3,856	50	1.88	399
市販+20%	94.9	3,818	50	1.90	381

※生産指数: 出荷体重(g)\*出荷率/出荷日数/飼料要求率/10

表 3 脂肪酸組成（胸肉）

	飽和脂肪酸			不飽和脂肪酸		
	ミリスチン酸	パルミチン酸	ステアリン酸	パルミトレイン酸	オレイン酸	リノール酸
市販+0%	0.7	25.55	9.05	2.75	28.85	14.35
市販+10%	0.75	28.65	7.4	5.35	33.1	13.15
市販+20%	0.7	27.3	7.5	4.35	36.55	11.2

表 4 腹腔内脂肪及び筋肉色

前期+後期	脂肪			胸肉			もも		
	L*	a*	b*	L*	a*	b*	L*	a*	b*
市販+0%	70.0 <sup>a</sup>	0.9	15.6 <sup>a</sup>	48.4	2.0	1.7	47.8 <sup>a</sup>	2.8	0.5
市販+10%	70.9 <sup>ab</sup>	0.8	14.7 <sup>ab</sup>	48.9	1.7	0.02	49.6 <sup>ab</sup>	3.0	0.7
市販+20%	71.7 <sup>b</sup>	0.8	13.5 <sup>b</sup>	47.9	2.3	0.6	50.2 <sup>b</sup>	2.6	0.6

ab:異符号間に有意差あり。P<0.05

(井手口朝美)

[その他]

研究課題名：飼料用米を利用した鶏の適正給与技術の確立

予算区分：県単

研究期間：2014～2015 年度

研究担当者：井手口朝美、山口妃鶴、永瀧成樹

発表論文等：平成 26 年度佐賀県畜産試験場試験研究成績書第 51 号 61-65